

第 3 次愛莊町地域福祉活動計画

令和 5 年度取り組み報告



目 次

- 1 ページ・・・・・・ 愛荘町地域福祉活動計画の取り組み報告
- 4 ページ・・・・・・ 第3次計画の「中間評価」について

【各プロジェクト報告】

- 6 ページ・・・・・・ 見守り・居場所プロジェクト
- 17 ページ・・・・・・ 暮らしサポートプロジェクト
- 20 ページ・・・・・・ 福祉を伝えるプロジェクト
- 23 ページ・・・・・・ 福祉防災プロジェクト

令和5年度愛荘町地域福祉活動計画の取り組み報告

★地域福祉活動計画プロジェクト推進体活動★

- プロジェクト推進委員 全体 17 名
- 社協計画推進チーム 全体 15 名

【見守り・居場所プロジェクト】

- プロジェクト推進委員 5名
- 社協計画推進チーム 4名
- プロジェクト推進委員会 5回 延べ参加数 45 名
- 社協計画推進チーム 3回 延べ参加数 15 名

【くらしサポートプロジェクト】

- プロジェクト推進委員 4名
- 社協計画推進チーム 4名
- プロジェクト推進委員会 3回 延べ参加数 23 名
- 社協計画推進チーム 4回 延べ参加数 19 名

【福祉を伝えるプロジェクト】

- プロジェクト推進委員 4名
- 社協計画推進チーム 4名
- プロジェクト推進委員会 4 回 延べ参加数 29 名
- 社協計画推進チーム 10 回 延べ参加数 38 名

【福祉防災プロジェクト】

- プロジェクト推進委員 4名
- 社協計画推進チーム 4名
- プロジェクト推進委員会 2 回 延べ参加数 16 名
- 社協計画推進チーム 2 回 延べ参加数 10 名

★計画全体の取り組み内容★

第3次計画それぞれのプロジェクトにて、調査やモデル取り組みを昨年度に引き続き取り組んでいただきました。

各プロジェクトの取り組みは、社協プロジェクト担当職員会議にて情報共有と課題整理やモデル事業活動等を進めることが出来ました。

見守り・居場所プロジェクトでの居場所づくりは、くらしサポートプロジェクトの地域の相談窓口と連動しており、SOS の「キャッチ」や「発信」を調査・活動化していただき、社協事務局においても、必要な調査や取り組みを検討することが出来ました。



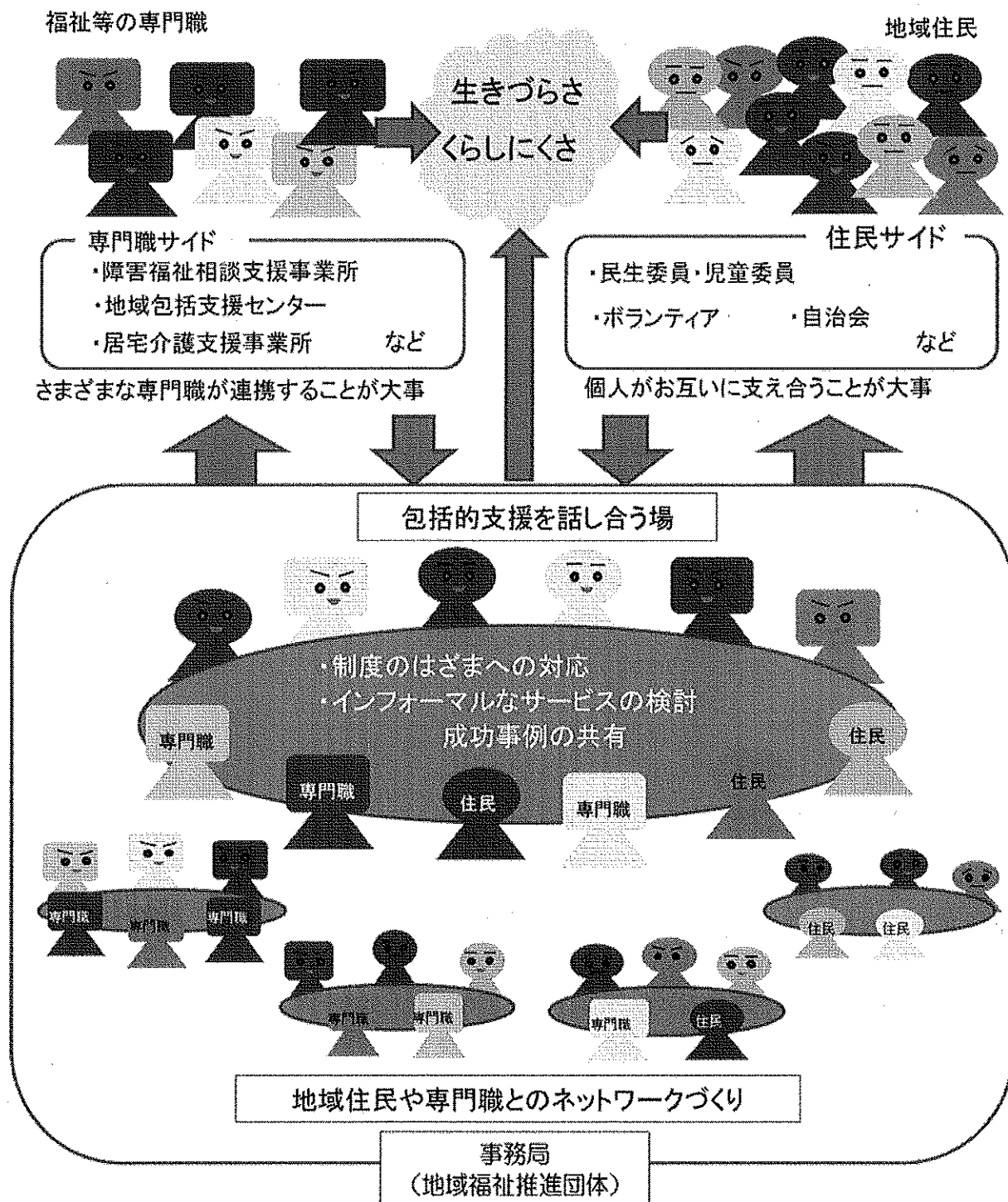
また、福祉防災プロジェクトの取り組みである「防災についての地域啓発」・「避難時の要支援者への支援活動(訓練等)」は、社協事業(福祉防災アンケートを活用した見守りサポート会議での状況確認・地域防災や学校での体験学習等)として実際に取り組みを進めているところです。

さらには、福祉を伝えるプロジェクトで取り組んでいる、多様な障がいの理解を町民の皆様にとどのように伝えるかの検討を進めていただいています。この取り組みは、すべてのプロジェクトに関連している大切な福祉意識の向上として進めていただいています。



社協においても、第2次計画のくらしサポートプロジェクトで進めていた、「愛荘町困りごと支援ネットワーク」の取り組みとして、【福祉関係者地域連携会議】【包括的支援ネットワーク会議(仮称)】を地域や法人・事業所の方々と一緒に進めています。

地域福祉活動計画のプロジェクト活動から地域のニーズに合った活動が推進していけるようにこれからも進めていきたいと思ひます。



(4) 計画期間と進行管理

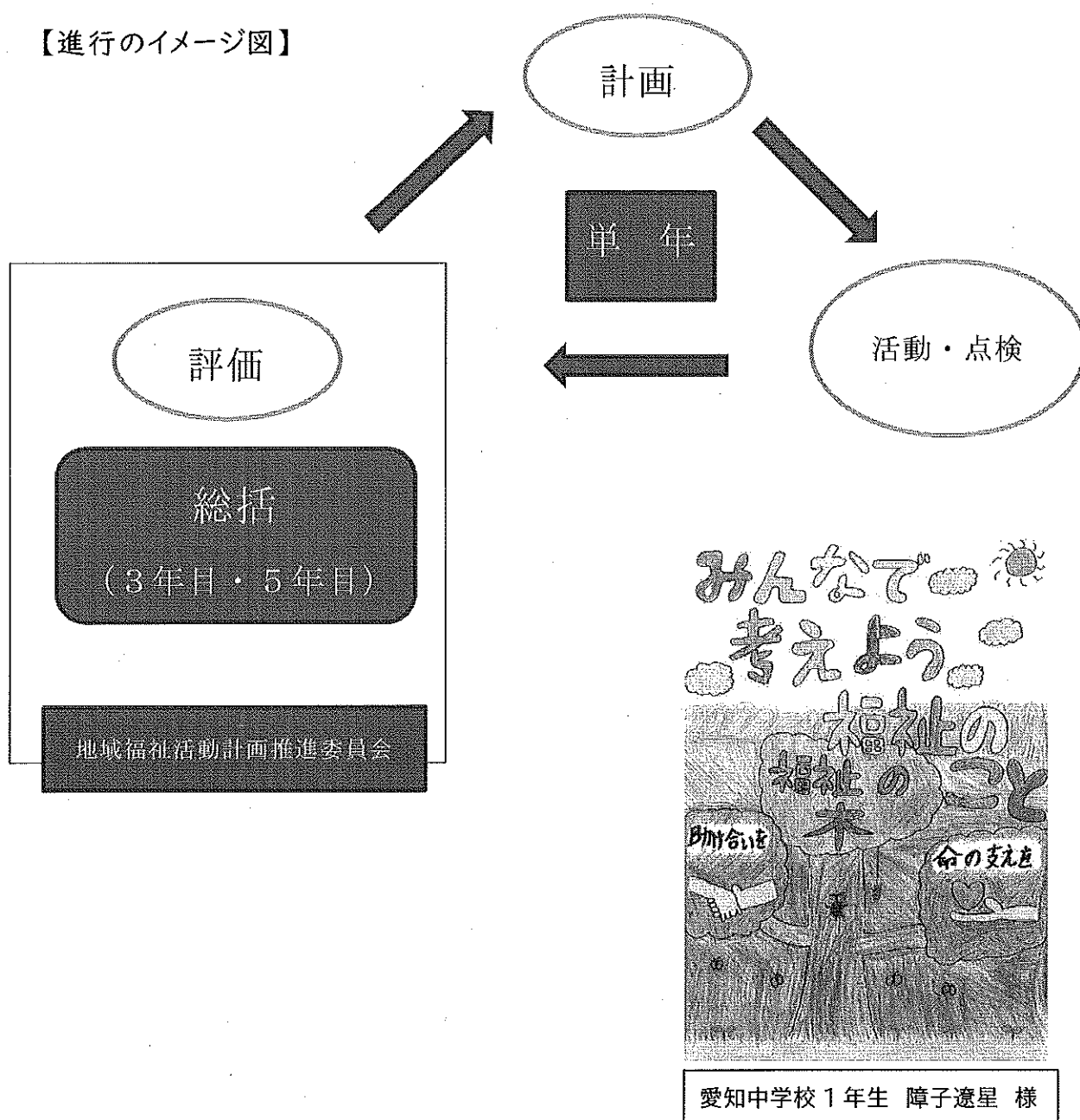
■計画期間について

第3次計画の期間は、令和4年度から令和8年度までの5年間とします。

■進行管理について

第3次計画の進行管理は、住民・町行政などが参画する「地域福祉活動計画推進委員会」において毎年度活動や事業を点検し、令和6年度（3年目）および令和8年度（5年目）に評価を行います。

【進行のイメージ図】



★令和6年度末に第3次計画の「中間評価」を行います★

●評価の指標として、計画の目標でもある「みんなでつながる」と「みんながつながる福祉活動」の視点で評価を行います。

プロジェクトの取り組みで「拡がりをつくってきた取り組み」と「変化してきたこと」・「難しかったこと」などを整理してまとめていきたいと考えています。

●評価を住民の皆様への啓発

数値目標に対してどれくらい進められたかを見せる計画ではなく、どのような仕掛けや働きかけをしたかを見せていく報告となります。取り組みを進めたからといって地域はすぐに変わるものではありませんが、「継続」することの大切を伝えるためにも取り組みの回数や広がり、数値として見せていければと考えています。

中間評価では、各プロジェクトの取り組みを整理し、共通する取り組みを事務局で整理してモデル活動とした新たな取り組みを検討・事業化する等、活動計画の「みえる化」を図れるようにします。

基本計画①【見守り・居場所】プロジェクト

見守りや居場所づくりなどの福祉活動の本町に関わる社会資源（企業・事業所、法人、福祉施設など）と連携・協働し、町内で活動の担い手同士のつながりと活動を広めます。

取り組み内容

a. 日頃の見守り活動を拡充します

近隣住民と困りごとを抱える方（一人暮らし高齢者や障がい者・ひとり親家庭の子どもたち、生活困窮者など）の安心したくらしの実現

b. みんな（自治会や当事者、地元施設・企業）で進める居場所をつくりま す

コロナ禍での活動自粛や活動の担い手不足など、多様な課題のある小地域福祉活動の推進に向けた居場所活動の活性化

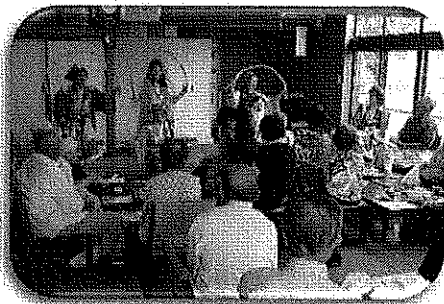
c. 企業・事業所、法人で取り組まれている社会貢献活動のメニューを 作成します

空きスペースの活用や寄付意識など、地域とともに取り組む活動の可視化と社会貢献活動の拡充

（プロジェクトの主なメンバー）

サロン活動者、民生委員・児童委員、商工会会員
福祉施設職員、町内の福祉活動者、自治会での活動者 など

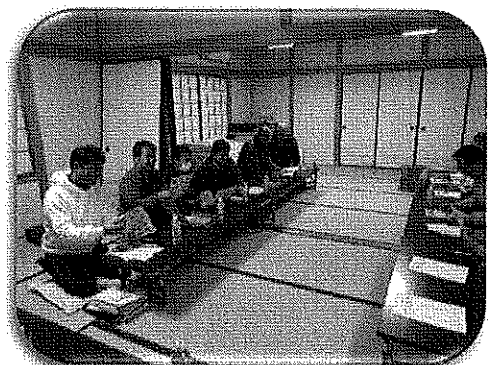
地域でのサロン活動（注4）



地域での見守り活動



このプロジェクトに関連する活動の紹介



見守りサポート会議 注16

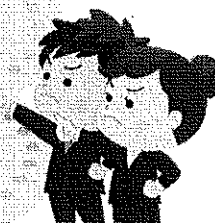
みんなが笑顔になることを一緒に考え取り
組みましょう。

見守り・居場所プロジェクト 令和5年度取り組み報告



★本プロジェクトの最終目標★

SOSを出せない方がSOSを出せるよう、
近隣のみんながSOSをキャッチできるようなしくみを作る

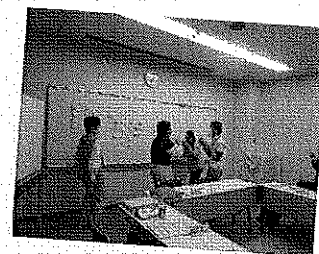


令和5年度に取り組んだこと

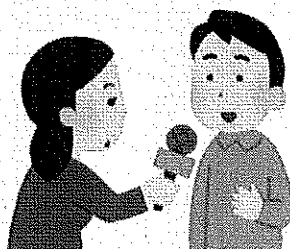
1



町内自治会に、サロンの現状についてのアンケートを行い、プロジェクトメンバーで整理(別紙参照)



2

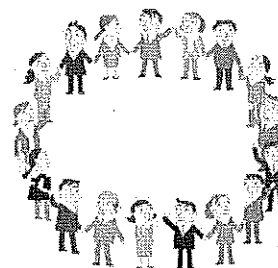


実施されている自治会のサロン見学・アンケートで「サロンを開催したいができない」という磯部自治会へ聞き取り

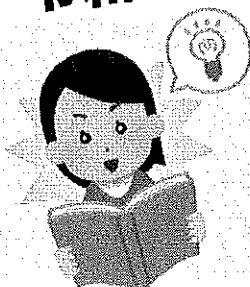
※話を聞いた結果、自治会の中でサロンを開催する必要性があるとは今の状況では感じられないとのご意見をいただき、出前サロン等の提案は至らなかった。

3

サロン立ち上げを考えている・開催している自治会に役立つための冊子の作成と、サロンをしている方の横のつながりづくりとして、「居場所塾」の開催を目指す！



令和6年度に向けて



令和6年4月25日に「居場所塾」を開催する！！
サロンに役立つ冊子づくりを進める！！

／自治会からいただいたアンケート結果をもとに、プロジェクトメンバーで課題整理をしました。

十
 世
 六
 八
 四
 十

- ・各字の皆様出来る事を出来る様様活動しております。皆様ですが参加者は楽しんでおられ何よりです。
- ・開催側も参加する側も楽しいからする。元氣になれるからする。という気持ちが始まり？
- ・字サロンで氣になる方のご様子が聞けたら、すこしい顔を眼に寄ってみよようか。市民の繁がりになる。
- ・地域の中で認知症の人もそうでない人も交える暮らししていく。この思いがみんなに浸透する。いいなあ。
- ・字サロン参加者は、毎回楽しみにしておられたり、とても喜んでおられる声がたくさんある。
- ・デイサービスでも字のサロンが楽しいので、こちらを優先される方もおられます。
- ・昔からのなじみの方との会話は、やはりとても嬉しいものなのではないか。
- ・思っていたことと、サロンに行つて選んでいた。参加多かった。楽しそう。
- ・主体性
- ・参加者が主体性を持つように。
- ・参加者がよろこばれている（サロン開催）

(附人口表) 終

- ・サロンは驚きまる場だけで良いのか？
- ・高齢者サロンは何のためにする。
- ・今後の自分達の事も含めサロンの必要性を皆様に伝ええる機会を持つ事が大事。

私達がもっとおく!!

- 地域の人と出会える♡
地域で人とつながることが大事♡
みんながあつまってすること
(おしゃべりしたり何かする)

二、人口增长与人口结构

4444 4
 4444 4
 4444 4
 4444 4
 4444 4

- ◎ スタッフのこと
- ・ スタッフの人員確保が課題
 - ・ スタッフの活動者同士の情報交換の支援が必要
 - ・ 炭部、石橋
 - ・ サロンの活動者同士の情報交換の支援が必要
 - ・ 炭部、石橋
- ↑
- 炭部・石橋をモデルケースとして何れ取組むかを
始めてみては？
- ・ 参加者はおられるのにスタッフが〇!! (竹原)
 - ・ 自治会の方が活動されているみたいですが支援が必要ではな
いのか心配。
 - ・ 対象人数にもよるがスタッフは少数でも活動されておられる
事がわかった。
 - ・ ざんげやさんの次の戒り手がない、スタッフの人員確保が難しい
等が課題。
 - ・ サロンの人員確保 回覧板などはどうか？ すぐに使えるような例
などあるといいのかな？
 - ・ スタッフの人数確保
 - ・ スタッフの不足、高齢化どうしたらいいかな～
 - ・ 高齢化

形を口にする

- 「月に一度、地城包詰支線センターから脳トシ用紙を頂き」とあるが、こういうところも共有できれば良いと思う。(コノナで止めてしまった地域にも)
- 配年形式のサロが増えている。
- ・参加者 20名 愛知川 10名 桑庄

◎ 國際大舞臺

- 野々目の名所見学、工場見学→地域をもっと知る。ということが企業として協力しやすいです。企業側からしても地域の方に何を求めているのかを知っていただきたいなと思っています。(距離感を縮めたいです。)
- ・催し物に苦勞を担い手役担
・今後のサロン活動内容を考えて行くのが難しい。毎回の企画が大変である。

地方自治の発展

- 定期的なわけとは別日、男性に特化したサロンなどされているところもあるでしょうか。料理・将棋・囲碁など？
- ▲桑花はサロンの活動を積極的に行っていて良いと感じました。特に北ハ木の月！回！６日をきめられていると続けやすいと思います。
- 毎月、日曜間係なく日を決めてあることが忘れにくく、参加人数が衰えたりやすいのかな？
- まず、お年寄りの方の気持ちに寄り添って進めて行く。
参加したという意志をより密着してあげよう。

藝文薈萃 · 67

- ・サロンの活動者同士の情報交換が必要

王聖一先生

- ・サロンの手引きがあるのも良いと思った。
 ・・サロンをヒント出来る団体のハングアウト（紹介用の）作成する。

- ・ サロン関係者側の声を見やすい冊子にしてあるといいのかなあ？
 - ・ サロンの日の「ある一日の流れ」のような物が例としていくつかが見られるとイメージしやすいかな？
 - （時間・人員・こうしたら良かった・うまくいった箇所など）
 - ・ サロンを開催していない理由でサロンをやめてしまった自治会に他の自治会の情報を共有するのは有効だと思う。
 - ・ サロンをパッケージとして提供してほしい。
 - ・ 用意されたパッケージがあれば始められやすい。
 - ・ このアンケート集計は回答してくださった集落にも知らせるべき。（集落名は消して）
- 各集落で参考にされることも見つけられるかな。

みんな風にしよう！

利用できると！！
良いところ・目的も伝える！

五、六二の世に於ては口を

継続することが大切である。

必發なし

- ・ 気の合う人が近所について語を
 していない。
 ・ サロンに關心がない方がいる。
 ・ 制度やサービスがあるか
 ら……
 ・ サロン以外の居場所がある。
 ・ 新興住宅街でのいサロン等の
 開権をより離したところがある
 と感じた。

五ノ六トロ口

- ・コロナの心配
- ・新型コロナウイルス感染症対策で、食事なく、マスク着用等制限がたくさんあり、ボランティアさんも参加者も苦勞されてる。
- ・コロナ禍であっても、スタッフ！人で行っておられる自治会があり、たのもしい限り。
- ・コロナによる心配が一定数あり、そのような、飲食はなし、というのが良いと思います。

上野動物園

- ・コロナ対策について、まとめたものを各自治体に配布してみようか。

東円堂まどか R5.7.22 (水)

◎東円堂草の根ハウス



—タイムスケジュール—

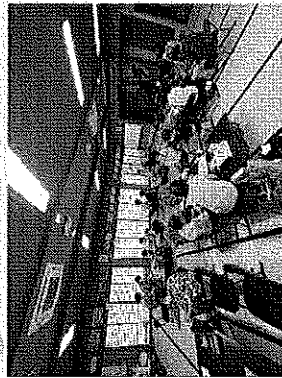
10:00～

サロンスタート!!

自分自身の写真を持ち
寄って思い出を語ろう

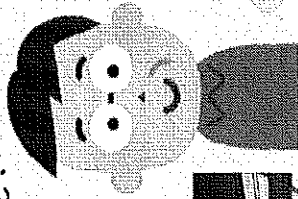
11:40頃

サロン終了



当日のスタッフは
18名(75歳以上が中心)
参加者は20名!!

スタッフの方に聞きました! /

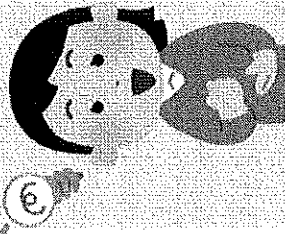


サロンのお知らせや、
動員方法は??
回覧版、チラシ

スタッフとして行き詰ったこと
コロナ禍で関係が出来なかった

スタッフを継続
している理由
自分たちが高齢にな
った時の居場所
次の世代へつないで
いく

見学メンバーより /



- ・ポランティアも一緒に楽しく開催されている。
- ・やっぱり「やる」ことは大事。
- ・参加者は減ったようだが楽しい雰囲気です。
- ・コロナで3年間中止している間に、入所や亡くなられた方がおられましたが、新しい方も参加してもらえてよかったです。
- ・ポランティアと参加者が一緒に話をされている。
- ・参加のお知らせは、回覧のチラシも見るといいのだが、初めての時などは参加者同士やポランティアからの口コミが良いという意見があった。旧来の地域では特に良いのかもしれない。
- ・10年以上の取り組みであり、ポランティアが参加者とも世代が変わる時、次の引継ぎを考え今のニーズにあった取り組みを考える必要があるのかと考える。

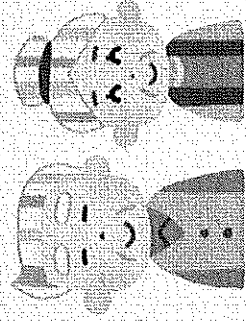
参加されたきっかけ
声をかけてもらった
チラシを見て参加した

サロンの中で楽しかったこと
小物づくり、みんなと話すこと、
花見、おにぎりパーティー、お雑

参加し続けている理由
みんなと話せるのが楽しい
しゃべるのが楽しい
認知症予防

参加してどうですか?
とても楽しい、家の中で一人とい
るとやっぱりだめ。外へ出て話す
こと、たまっているものが出せ
る、ストレス発散、いろんな情報
が知れる

参加されている方に聞きました! /



長野西サロン R5.7.19 (土) @長野西公民館



ータイムスケジュールー

当日のスタッフは
7名 (ボランティア、福祉推進
委員、区役員、役職終わった方)
参加者は20名!!

11:00～ サロンスタート!!

おしゃべり会、7月誕生日会

11:30～ お食事 (お弁当)

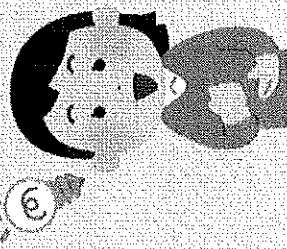
13:00～ 愛宕町健康推進課による、
熱中症予防についての
お話

13:40頃 おやつ、おしゃべり

14:00頃 サロン終了

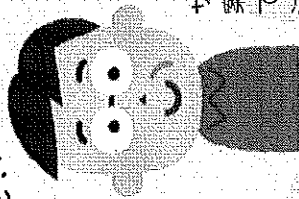


ー見学メンバーよりー



- ・スタッフのがんばりが参加者を呼んでいる。
- ・普段はあいさつ程度だが、ここに来るとたくさん話が
出来て、知らない事も知る。
- ・男性参加が多かった。男性もコミュニケーションをと
りたいと思っているが、恥ずかしい気持ちがある。
- ・サロンだけでなく、グラウンドゴルフや老人会サロン等
集まる機会がたくさんある。
- ・20年以上の歴史→そのころのボランティアが参加
者として来ている。
- ・区の役員や、ボランティアの方が手伝っている。一緒
に入るよりは、参加者の交流をうながしている。

ースタッフの方に聞きました!ー



サロンの催しはどのように
依頼している?

女性はおやつや食事を考
え、男性は催しを考える

一番好評だった催しは?
写真ビデオクイズ、輪投げ、
体操など



スタッフになっただきかけは?
以前の区長等にサロンを頼まれて

サロンのお知らせや、動員方法は??
案内チラシ (出欠表をつけた) も渡し
ているが、サロンの日程が第3水曜と
決まっている。遠い方は近所のボラン
ティアと一緒に来られる方もいるが、
ほとんど自力で来られる。

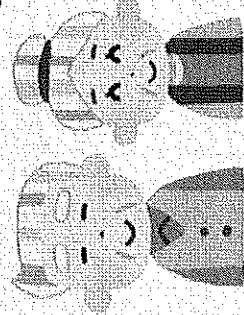
スタッフを継続している理由
みんな楽しんでるし、
自分のつながりにもなる

スタッフとしてよかったこと☆
元気をもらえ、男性の参加が多くなった

参加されたきかけ
ボランティアの方からた
くさん「来て」と言われた

参加し続けている理由
いつもならあいさつのみなの
に、サロンに来ると長い時間話
ができる、みんなと話せる

ー参加されている方に聞きました!ー



サロンの中で楽しかったこと
毎月お誕生日月に花をプレゼント
され、ハッピーバースデーを歌う、
レクより話すことが楽しい

参加してどうですか?

楽しい、見守りになっている、
何をしてくれるか楽しみ、知らな
い事もわかるしふれあえる

こんなことしてほしいな
町バスを借りて町内研修 (近所)、
子どもときのふるさとを地図
におとす (学校の先生と一緒に)、
帰りにごはんでも

☺町内のサロンのいちにち☺

長野東いきいきサロン R5.7.15(土)

◎長野東公民館



—タイムスケジュール—

10:30～ サロンスタート!!

お茶・ビンゴゲーム

12:00頃 サロン終了



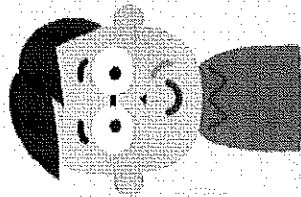
当日のスタッフは
9名(ボランティア、福祉推進
委員、区役員、評議員)
参加者は20名!!

見学メンバーより／



自分の話を聞いてほしくて、参加しておられる。

スタッフの方の聞きました!!



サロンの催しはどのように
依頼している?
役員が社協に相談したり、
役場の出前講座

スタッフとしてよかったこと
いろいろ教えてもらえる、見聞が広がる、
つながりができる



スタッフになったきっかけは?
役員があたたかたから

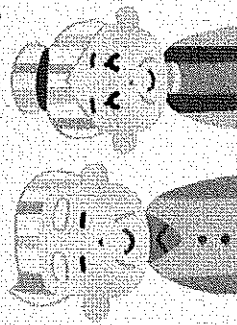
サロンのお知らせや、動員方法は??
全戸(90軒)に案内配布
出欠を2週間前までに伝える

スタッフを続けている理由
「うれしいわ」が励みになっている

スタッフとして行き詰ったこと
ビンゴゲームの景品やおやつ等
選ぶのが大変、役員は時間のやり
くりが大変

参加し続けている理由
しゃべれる、待ち遠しい、
生きがいを感じる

参加されている方に聞きました!／



サロンの中で楽しかったこと
手作りのごちそうを食べられた、
自分たちも作るのが楽しかった
行くところがあってうれしい

町内サロン R5.6.24(土) @町内公民館



——タイムスケジュール——

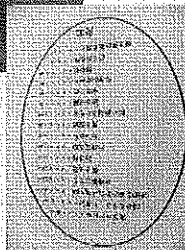
当日のスタッフは
字の役員1人とその家族
参加者は10名!!

14:00～ サロンスタート!!



町内ボランティア登録者
の方による
バイオリン演奏

15:00頃 サロン終了

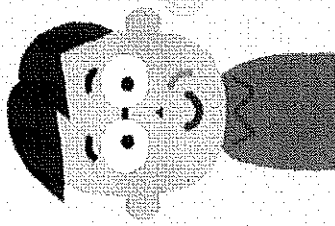


——見学メンバーより——



- ・小さい字なりの協力体制があり、みんな積極的に参加されている。
- ・楽しみにしておられた様で、皆さん聞き入っておられました。
- ・今日のイベント(バイオリン生演奏)に感動した。
- ・次の自分たちの活動の参考にしたいと思った。

——スタッフの方に関きました!——
スタッフになったきっかけは?
サロン担当役員が
スタッフをする
(2~3年交代)



サロンの催しは
どのようなに
依頼している?
杜協に相談している

サロンのお知らせや、動員方法は?
全戸配布の案内(18戸)

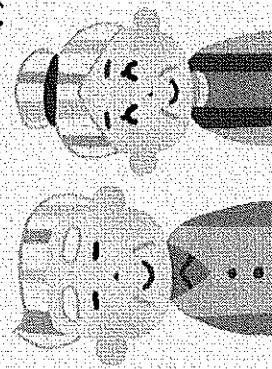
行き詰ったなと思ったこと
内容を決める事

一番好評だった
催しは?
手品

スタッフとしてよかったこと
地蔵盆などで世代を超えた交流ができたこと

参加し続けている理由
夫婦で参加している
しゃべることが生きがい

——参加されている方に聞きました!——



サロンの中で楽しかったこと
モノづくり・食べる・ゲーム
体操(会費をとっている)

参加してどうですか?
生きがいを感じる

寄ってんか R5.8.4 (金) @栗田老人憩の家



——タイムスケジュール——

当日のスタッフは3人
参加者は7~8名!!

13:00~

寄ってんかスタート!!

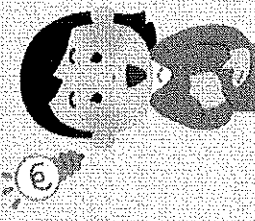
自由に過ごす

17:00頃

寄ってんか終了

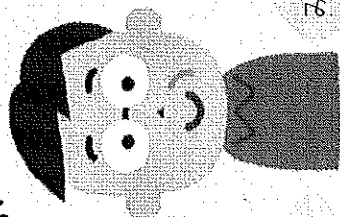


〜見学メンバーより〜



- ・夏休みだったので小学生も参加していて、年齢を超えた交流が自然に行われていたの、小学生にとっても良い経験だと思った。
- ・居心地が良く、足湯やおもちゃ(木の脳トレパズル)や、血圧測定器(マッサージ)など、工夫されているなと感じた。各々が好きなように過ごせる。
- ・町の予算や字の姿勢も継続開催に必要だと感じた。
- ・それぞれの催しの内容が良いので続いている、と聞いてボランティアさんのサロンを自分も楽しみながら続けたいという想いで続いていること、その思いが素敵だと思った。

〜スタッフの方に聞きました!〜



サロンの催しは
どのように
依頼している?
自主的に来てくれる

一番好評だった催しは?
何か作って食べる、花見

スタッフとして行き詰ったこと・心配
コロナ。時に相談してプロジェクターを
自治会で買ってもらって黙々と体操。
男性の参加が少ない。後継者がいない。
理想は毎日開催だが、なかなか難しい。

スタッフになっただけかけは?
みんな役員ではなくボランティア。
ア。やりたいと言って手を挙げた。

スタッフを継続している理由
みんなが楽しみにしているし、喜
んでももらえるのでやめられない

スタッフとしてよかったこと
みんなが喜んでくれるし自分も楽し
い。楽しい栗田でありたい。

サロンのお知らせや、動員方法は??
栗田の広報に予定を載せている、チラ
シを各戸に配っている

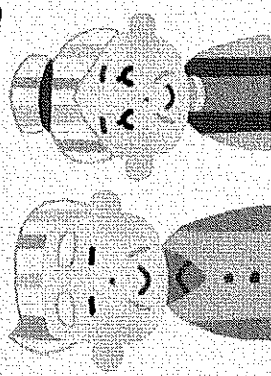
サロンの中で楽しかったこと
いろいろあるけど、食べられるこ
と。みんなと一緒に食べられると
いうのが楽しい。

参加してどうですか?
楽しい。ものをつくるのにも、
みんながコミュニケーションを
とれることがうれしい。

こんなことしてほしいな
してくれはること自体がうれしい。
「こんなのしてくれはる!」って思
っていつも楽しく参加している。

参加されたきっかけ
一人暮らしなのでみんなと
しゃべりたいから

〜参加されている方に聞きました!〜



⑤町内のサロンのいちにち⑤



竹原サロンささゆり会 R5.7.20 (木)

◎竹原草の根ハウス



—タイムスケジュール—

10:00～ サロンスタート！！

びんてまり体操・
おしゃべり会

12:00～ お食事(お弁当・
手作りおつゆ)
みんなで歌を歌う

16:00頃 サロン終了

当日のスタッフは
スタッフという形はないが、
当番制で2名
参加者は12名！！



—見学メンバーより—



夫の同級生の奥さんが好き寄りで集まり、自分たちでしゃべる場を作り、楽しく過ごされていて理想的な居場所であると感じました。役員も特に決めず、自由なスタイルでお互いに来られていない方を呼びに行ったりされる等、自然に見守りができていました。

—スタッフの方に聞きました！—

一番好評だった催しは？
びんてまり体操→おしゃべり→お弁当→歌→おしゃべりのスタイル。何かを作るのは大変ですが、
がなくなる



スタッフとしてよかったこと☆
家から離れて話をするのは楽しい。
こういうことがないと出会えない。
(つるがめサロンも老人会もない)

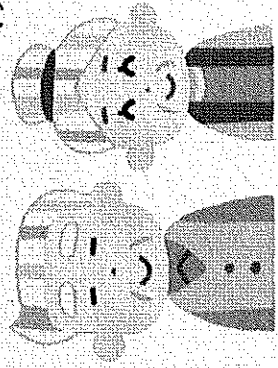
スタッフになったきっかけは？
夫の同級生の奥さんの
友達メンバーで

サロンのお知らせや、動員方法は？
毎月チラシを作っていたが、最近集まる際に次回の予定を決める

サロンの中で楽しかったこと
言いたいことも言える、彦根城や
保津川下りなどのおでかけ

参加してどうですか？
参加していて楽しい。にぎやかな
人がいて、話を聞かせてもらえ
る。来られていなかったら呼びに
来てもらえてきにかけてもらえ
る。昼間女性が一人数なので携帯で
れんらくできるようなつながり
を持っていると助かる。

—参加されている方に聞きました！—



こんなことしてほしいな
花見にもいきたい

⑤ 町内のサロンのいちにち⑤

太鼓の里ふれあいサロン R5.7.15 (土)

@山川原総合センター



—タイムスケジュール—

13:00～ サロンスタート!!

愛のりたくしーに
ついでの出前講座
お茶菓子でおしゃ
べり・カラオケ

15:00頃 サロン終了



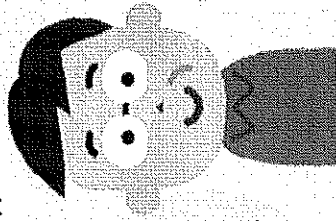
当日のスタッフは
福祉の評議員・民生委員・ボラ
ンティア委員会・他の評議員
参加者は25名!!



・和気あいあい楽しい雰囲気だった。
・スタッフの負担感を考慮しておられ、継続していく事
を大前提として、続けておられることに感銘した。

「スタッフの方に聞きました!」

スタッフになっただきっかけは?
役員(組より選出)



サロンの催しは
どのように
依頼している?
「愛のりたくしー」に
ついて→役場出前講座
熱心になると負担感・来
る人も負担、気象に集まる
場所、敷居を低く

サロンのお知らせや、動員方法は?
2週間前に回覧、年間計画表を渡す



スタッフとしてよかったこと
コロナで中止していたため、来てくれ
る人が喜んでもらえる、来れる範囲で
参加のきっかけになる、スケジュール
きちっとしているから参加しやすい

参加し続けている理由

友だちで誘い合って、にぎやかに
しゃべったり歌ったり

サロンの中で楽しかったこと

カラオケ、出前講座、
キャラバンの紙芝居

参加してどうですか?

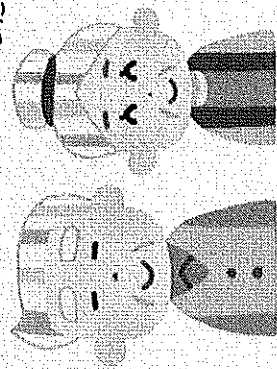
2時間楽しく過ごす、若返る

こんなことしてほしいな
新しいメンバーが増えるといい
(70代前半がいらない)

参加されただきっかけ

今年から仕事辞めた。幼稚園に
さそってもらった

参加されている方に聞きました! /



③町内のサロンのいちにち③

沓掛いぎいぎサロン R5.11.26 (日)

@沓掛草の根ハウス



ータイムスケジュールー

9:30～ サロンスタート!!

サンククラブの方
(老人会)と一緒に
にゲーム・食事

13:00～ サロン終了



当日のスタッフは
食事ボランティアの方6名、
区長、民生委員の方6名
参加者は33名!! (いつも
は15名ほど)

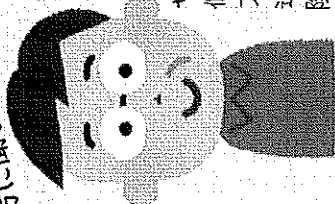
参加者の方もスタッフの方もいきいきとした表情で過ごしておられたことが印象的だった。会長さんが中心になり進めておられた。恒例の、と言われていた座ってするラジオ体操のDVDを見ながらの体操をほとんどの方が立って、ジャンプなどももまれて体作りにも意欲的だと感じた。もう少し強度のある体操もしたいという声もあった。4つ程のゲームと手料理の昼食を囲み、おしゃべりしながらの食事。理想的な字のサロンだと感じた。回数を重ねていく中でできあがった形であり、今からのサロンを考えられるなら外部のボランティアサークルに頼まれるのが良いと会長さんの話であった。

見学メンバーより



スタッフの方に聞きました!

スタッフを継続している理由
自分も楽しい、元気になれる、
地域の方と会って話が出来る



スタッフになった
きっかけは?

やってほしいと頼まれて
始めたが、今は好きでやっ
ている。

サロンの催しは
どのように
依頼している?

次回の日が決まっているの
で、用事がなければボラン
ティアに参加している。

一番好評だった催しは?

ミステリー食事会(たこ焼きの具材、食べてみないと
わからない)焼くところから皆さんとする

スタッフをしていてよかったな! 行きたいな! と思ったこと

自分の健康づくりにもなっている。もう少し続けたいと思っている。次に引き継いで運営していかれる方を探していかなくとも、区長や民生委員の方に参加して内容をわかってもらえるようにしている。サロンの知らせもできるだけま
渡しで、言葉をお交しながら参加人数も増やしていきたいと思っている。

参加されたきっかけ

サロンに参加されている方からの誘い
老人クラブに入ったら、サロンもある
ことを教えてもらった

参加してどうですか?

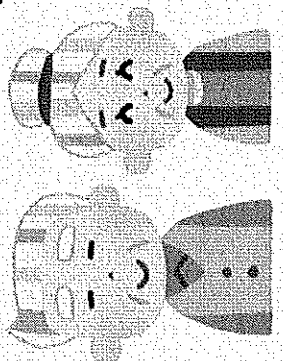
- ・みんなと会って話が出来ることがうれしい。
- ・普段人とは「偶然」でしか会えない
- ・今日も久しぶりにこんなに笑った
- ・田舎の生活での(ネガティブな思い)を
忘れられる

こんなこととしてほしいなどはありますか?
特にはないと答えた方がほとんど。もう少し
強度のある体操もしたいという声も。楽しい
ゲームなどをこれからも続けてほしい。みん
なと集えるサロンがあることがありがたい。

今までのサロンの中で一番
楽しかったことは?

毎回ゲーム等趣向を凝らして
くださっているのでも楽しい

参加されている方に聞きました!



基本計画②【くらしサポート】プロジェクト

地域で困りごとを抱えた方々へ福祉専門職や社会福祉施設・住民などが連携して、社会福祉に関わる活動の担い手を増やし、困りごとに対応するネットワークを広めます。

取り組み内容

a. 地域福祉関係者と福祉関係機関・専門職が連携する場をつくります

民生委員・児童委員などの地域福祉関係者や関係機関・福祉専門職などをつなぐ場づくりと、困りごとを抱えた方への包括的な支援におけた福祉関係機関同士のネットワークの拡充

b. 身近で誰もが安心して利用できる相談窓口をつくります

行政や福祉関係機関とともに、相談対応できるしくみと身近で誰もが利用しやすい相談窓口の設置

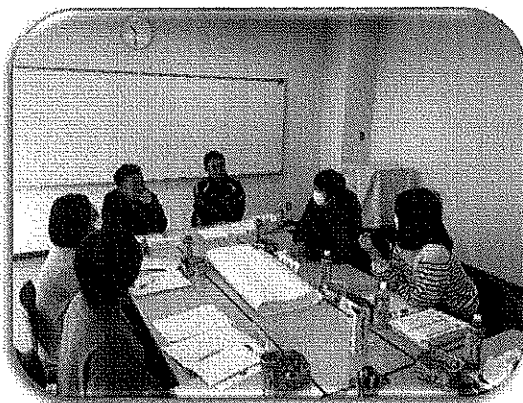
c. くらしの課題をみんなで検討するしくみをつくります

地域の福祉課題（一人暮らし高齢者の増加・ひきこもり・通院や買い物の移動手段など）に対応する活動の情報整理や活動者の育成

（プロジェクトの主なメンバー）

地域に居住される福祉専門職、民生委員・児童委員、相談関係事業所職員、コーディネートに携わる方、町地域包括支援センター など

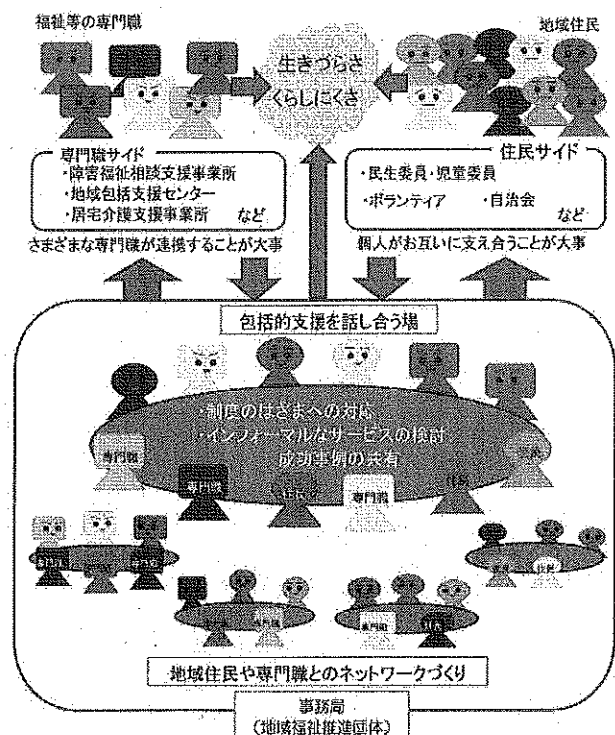
このプロジェクトに関連する活動の紹介



専門職や民生委員・児童委員との話し合いの場

みんなのつながりで、笑顔でくらせるまちづくりを進めましょう。

困りごと支援ネットワーク（仮称）





令和5年度「くらしサポートプロジェクト」 取り組み報告

～今年度の取り組み内容～



★地域での相談窓口が作れるように取り組みを行う。

⇒地域で相談しやすい環境が作れるように、周囲が困りごとに気づくように、
地域での相談窓口を増やすことができるような取り組みを検討する。



～今年度に取り組んだこと～

①地域での相談窓口を設置するために、どのようにしたらいいのかを検討しました ☺

★地域住民のみなさんと相談窓口について話す場を作ることから始める。

⇒話す場づくりのために、地域についてよく知っている方に情報収集を行う。

②民生委員さんとの意見交換会を実施しました ☺

東円堂地域・豊満地域・斧磨地域の3つの地域の民生委員さんに、日ごろの活動のことや、
地域での困りごとのキャッチの仕方など、お話をうかがいました。



★意見交換会を終えて感じたこと

- ・ 民生委員活動の大変さ⇒今後は社協や民児協事務局で対応を行っていく必要がある。
- ・ 地域の高齢者の方については話を聞くことができたが、子どもや障がいのある方の話題はあまり出てこなかった。

⇒子ども…新興住宅地が増加し、子どもの数が増えているので把握が難しい。

障がいのある方…自ら民生委員さんに相談されることが難しい。

- ・ 地域のコミュニティーについての話題があまり出てこなかった。

⇒自治会の取り組みの他に、地域にどのようなコミュニティーがあるのかを調べていく
必要がある。



～来年度の取り組み内容～

★聞き取りの対象を「子育て・子ども世代」などに絞り、

「相談窓口」をテーマにしたヒアリングを行います😊

⇒民生委員さんとの意見交換会であまり話題にあがってこなかった「子育て・子ども世代」にとって、どのようにしたら「相談しやすい」のかを聞き取り、本プロジェクトで検討していく。

★地域でのコミュニティーの発掘と情報収集を行います😊

⇒「子育て・子ども世代」へのヒアリングに向けて、地域のコミュニティー（子ども食堂・不登校等の児童生徒の居場所づくりなど）について、活動者の発掘や情報収集を行う。

基本計画③【福祉を伝える】プロジェクト

子どもたちや住民が福祉を身近に感じることでできる福祉教育（学習・体験）の機会の拡充と、若者世代へのSNSの活用など、福祉活動への住民の皆様の参加意識を高める普及啓発を進めます。

取り組み内容

a. 福祉を学べる・体験できる場づくりをさらに増やします

住民の福祉活動への理解と参加を広めるため、福祉意識の醸成や活動を啓発する場（研修会・ふくし祭りなど）の拡充

b. 若い世代の福祉への関心を高めます

若い世代にボランティアや地域福祉活動への参加を促すため、SNSなどを活用した情報発信

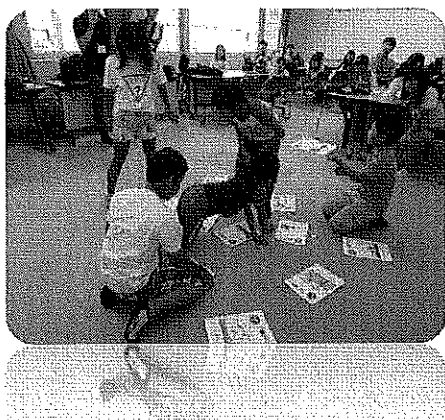
c. 子どもたちの福祉学習をみんな（町内の学校や自治会・関係機関・団体など）で協力します

子どもたちへの福祉・防災などの体験や学習機会に協力する関係機関・団体などの参加拡充

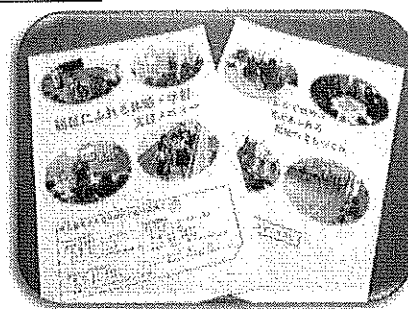
（プロジェクトの主なメンバー）

当事者（障がい者等とその家族）の活動支援者、福祉施設職員、大学生や学校等教育関係者（小・中・高）など

このプロジェクトに関連する活動の紹介



第2次計画では、多くの子どもたちと一緒に「福祉」を体験し学びました。これからは、より多くの皆様と一緒に「福祉」を共有し伝えていきたいと考えています。



体験や学習のメニューを作成しています。



令和5年度「福祉を伝えるプロジェクト」進捗報告

5年後の目標

キーワード「共生社会」

aとcは一体で考えていく

取り組み a 福祉を学べる・体験できる場づくりをさらに増やします

c 子どもたちの福祉学習をみんな（町内の学校や自治会・関係機関・団体など）で協力します

『福祉を身近に感じる機会をつくる』

取り組み b 若い世代の福祉への関心を高めます

『福祉意識の芽生えとなる福祉情報を SNS 等を通じて発信する』

講座で学ぶ形式、イベントで交流する形式、SNS 発信の3つについて委員が分担して検討しましょう！

目に見えない障がいを体験できるように企画中！

今年度もサントナ学園の生徒さんとコラボ実現！

知的障がい・自閉症の啓発講座

LINE の活用を予定

当事者と体験型交流で伝える

来年度は

愛荘町福祉コミュニティー親の会

町内4小学校

とコラボできないか検討中です！

知的障がい・自閉症の啓発講座の進捗状況

昨年度の当プロジェクトで「障がい福祉サービス利用者と地域との隔たりがあり、地域のキーパーソンとなる人をつくりたい」と意見出し

↓

今年度前半に知的障がい・精神障がいの啓発についての先行事例を調べる
(茅ヶ崎市社協・茅ヶ崎いんくる隊にインタビュー実施)

↓

標語「みんなに伝わらないこころのバリアフリーを伝える」に決め、疑似体験の用意は整う

↓

現在の課題

- ・疑似体験を授業で採用してもらえるのか？
- ・疑似体験を通じて何を伝えたいかを障がい当事者と一緒に考えたいが、協力してもらえるか？

SNS を使った発信の進捗状況

- ・愛荘町社協の公式 LINE を 4 月に開設予定
- ・推進委員を中心にユーザー側の視点から意見をもらう試験的運営を計画

当事者との体験型交流の進捗状況

- ・知的障がいや精神障がい当事者との体験交流を計画するには当事者団体の協力、参加者の障がい特性の理解を広げる必要があり啓発講座の進捗を待つ必要がある
- ・今後もサントナ学園との交流体験事業は継続していきたい

基本計画④【福祉防災】プロジェクト

災害時要配慮者を住民相互で助け合うしくみについて、地域で話し合う場を引き続き取り組みます。

また、災害時要配慮者への支援（情報把握や避難訓練など）を自治会、防災関係者、福祉専門職、行政及び関係機関、福祉施設、地元事業所、企業・法人など、多くの方々と協働した取り組みを進めます。

取り組み内容

a. 防災を中心とした地域福祉活動をさらに話し合います

防災を中心とする福祉活動に取り組むため、必要なことを身近な地域で話し合う機会の拡充

b. 要配慮者が災害時にSOSの声を出せる地域をつくります

要配慮者の誰もが、災害時にSOSの声を出せるしくみづくり

c. みんな（住民と地元の福祉施設・企業、行政）で福祉防災活動を行います

福祉防災活動の意識の高揚と、実際の災害を想定した福祉の防災活動（要配慮者を中心にした避難訓練など）の検討と実施

（プロジェクトの主なメンバー）

民生委員・児童委員、町福祉担当課、自主防災に携わる方、町防災担当課、災害支援ボランティア など

このプロジェクトに関連する活動の紹介



地域の危険な箇所を確認しあい、マップを作成し
区民への啓発に取り組みました。



災害が起こった場合を想定して災害
ボランティアセンター（注12）の設置運
営訓練を実施しています。





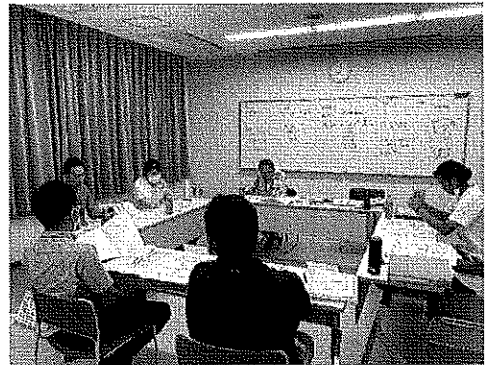
第3次地域福祉活動計画 福祉防災プロジェクト 令和5年度 活動報告

1. 推進委員会メンバー

- 【推進委員】 森野昭二座長、本道康介委員
青木葉留実委員、青木隼人委員
【事務局】 岡村係長、藤田所長、重永主任
山下主任、溝上

2. 委員会開催日

職員チーム会議：2023年4月21日（金）、9月14日（木）
推進委員会：2023年5月16日（火）、9月26日（火）



3. プロジェクト活動内容

2023年6月25日（日）8:00～10:00 長野西自治会 区民防災訓練への見学参加

【訓練の概要】

- 08:00～ 区長より防災無線にて訓練開始の号令
08:30～ 各組に応じた一次集合場所に集まり安否確認
→ ふれあいスポーツ公園（避難所想定）に集合し、安否情報を集約
09:20～ 全員避難・安否確認完了
消防署より 講評
実技指導 （1）簡易担架作成
（2）応急手当（①圧迫止血 / ②骨折・脱臼の処置）
10:00 終了



- ・今回の訓練実施に向けて、各組長さんが手分けして全住民宅を訪問し、当日の訓練の案内と、訓練に参加するか否か確認に回られている。消防署とも事前打合せをし、事前準備にも時間をかけられている。
- ・避難行動要支援者の移動手段を確保するために車いすを用意して訓練に臨んでいることに対して、消防署も評価されていた。
- ・これから5年かけて区民防災訓練をレベルアップさせていく計画。今年度はその為の課題の洗い出しをするための訓練。
- ・若い世代も比較的多く参加されていた。これまでの活動に加えて防災活動をしていくのは、負担も多くなり、「こんなに大変ならもう参加したくない」と思われる可能性もあり、そうなっては本末転倒。日常生活の中やこれまでの活動の中に、少し防災の視点を取り入れた楽しめる活動が理想。
- ・訓練の途中で水分を持参されていない親子が自宅に戻られた。来年度以降は災害用持出品を持って避難をするというオペレーションを入れても良いのではないかな。
- ・福祉防災プロジェクトでは、避難行動要支援者を普段支援されている福祉・医療関係者にもこのような自治会の防災訓練に参加してもらえると良い。

【出展の概要・目的】

- ・住民に広く『防災』や『地域活動』に対する関心を持ってもらう機会を提供する。
- ・住民一人ひとりの防災意識の向上をテーマとし、以下の3つの展示ブースを設置する。

① 防災備蓄の啓発資料と試食品の配布 (※資料と試食品をそれぞれ 300 セット用意)



【出展内容】

- ・スマートフォンから東京都庁のホームページ(東京備蓄ナビ)にアクセスし、日常備蓄の目安量を手軽に算出する体験。
 - ・防災意識の啓発資料と備蓄食品の試食品を参加者に提供。
- (※資料 150 部、試食品 270 セット配布)

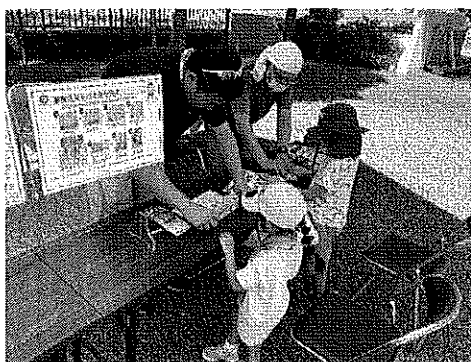
② 防災便利グッズ (携帯用浄水器) の実演



【出展内容】

- ・携帯浄水器の使用方法を実演し、参加者に浄水を体験してもらう。
- ・希望者には 浄水前 / 浄水後 の味見比較を体験してもらう。

③ 防災グッズ (新聞スリッパ) の手作り体験



【出展内容】

- ・災害時に必要となるグッズを家庭にあるもので代用する体験として、新聞スリッパの手作り体験を行う。

イベント当日は暑い中にもかかわらず、多くの親子連れの住民さんがオープニングイベントに参加してくださった。福祉防災プロジェクトのブースにも、試食品の配布をきっかけに、ブース展示にまで足を運んでくださる方が多くおられ、資料 150 部、試食品 250 セットを配布することができた。子どもに喜んでもらえるような体験コーナーを作ることで、保護者の方も一緒に防災を学んでくださる姿が見られたことが何よりの収穫だったのではないかな。

また、今回のイベントを企画したことで、『東京備蓄ナビ』や『携帯浄水器』の活用について、事務局側も新たに知識・知恵得ることができ、今後の防災学習のバリエーションを広げることにもつながった。

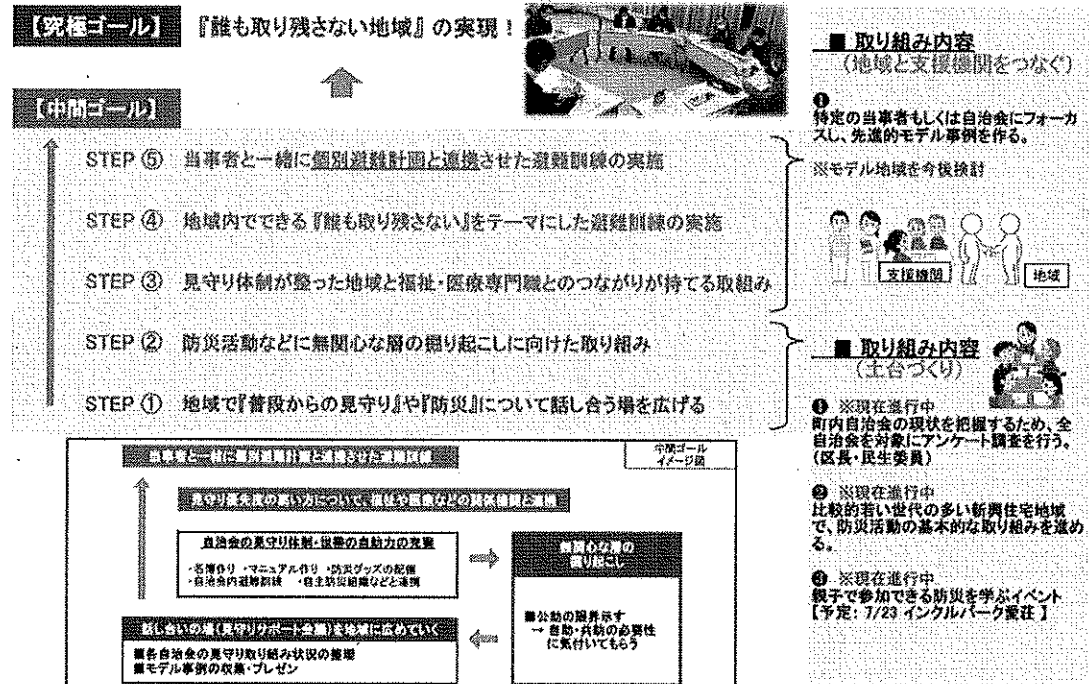
自治会内の防災活動及び防災意識に関するアンケート調査の集計結果の分析

【アンケート回答率】

全体 : 155名/219名 = 70.78 %

○ 区長・総代 様	52名/61名 = 85.25 %
○ 民生委員・児童委員・主任児童委員 様	52名/58名 = 89.66 %
○ 福祉推進委員 様	51名/100名 = 51.00 %

令和5年度 福祉防災プロジェクト 到達目標のイメージと具体的取り組み内容



■ ステップ③～⑤において支援するモデル地域の選定方法

- ・4小学校区からバランスよく気になる地域をピックアップ。

秦荘東 : 目加田【自主防災組織などの体制が整っている】

斧磨【土砂災害の危険性が高い/2～3世代同居の割合が高い】

安孫子【自主防災組織などの体制が整っている】

秦荘西 : 沖【住んでいる地域が危険と感じていると回答(区長/民生委員)/自主防災組織などの体制が整っており、マニュアルの見直しの必要性も感じておられる】

下八木【住んでいる地域が危険と感じていると回答(区長)】

島川【自主防災組織などの体制が整っている/平常時から地域で要配慮者に支援されている】

愛知川東 : 東円堂【平常時から避難行動要支援者名簿を活用した見守り活動をされている/防災減災支援隊など独自の防災活動を精力的に実施されている】

愛知川 : 市【自主防災組織などの体制が整っている】

長野東【自主防災組織などの体制が整っている】

長野西【自主防災組織などの体制が整っている/5年計画で避難行動要支援者に焦点を当てた防災活動を検討されている】

長野新町【地域活動が進んでおらず、これから必要になってくる地域】

磯部【住んでいる地域が危険と感じていると回答(区長)】

川原【住んでいる地域が危険と感じていると回答(区長)】

山川原【住んでいる地域が危険と感じていると回答(区長/福祉推進委員)】

【研修会開催の目的とねらい】

- ・アンケートの集計結果の報告
- ・自主防災組織の平常時の活動支援
- ・災害ボランティアセンターの機能の周知
- ・災害支援ボランティア登録者の養成

【研修会の内容】

1. 笠原恒夫講師(地域防災アドバイザー / 防災士)より
 - ・災害時における『自治会』『自主防災組織』の重要性について
 - ・演習 HUG(避難所運営ゲーム)
2. 愛荘町行政・愛荘町社会福祉協議会より
 - ・自主防災組織の結成・活動支援について
 - ・災害ボランティアセンターの機能と災害支援ボランティアについて
 - ・自治会内の防災活動及び防災意識に関するアンケート調査結果について

【結果】

- ・参加者: 57名(22自治会) + 社協職員5名
- ・災害支援ボランティア新規登録者: 4名

講師は滋賀県の地域防災アドバイザーで防災士の笠原恒夫氏にお願いをし、HUGの演習を実施した。自主防災組織の重要性などについて改めて認識をしていただくとともに、行政や社協からできる支援についても情報提供をすることができた。福祉防災プロジェクトでは、区長・総代様などの自治会関係者を対象とした防災に関するアンケートを実施していたので、集計を報告する時間も設けた。参加者からは「今回のような研修を継続してほしい」という声も多くあり、回数を重ねて質を高めていきたいといったニーズが住民さんにあることに気付くことができ、大変心強く感じた。

